

法藏館書店ニュース 5月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~4
法藏館刊行予定案内 P4~5
法藏館書店のおすすめ本 P5~15

特集1:「舞楽と雅楽」 P16~17
特集2:五月病なんて吹き飛ばそう? P18
お知らせ P19
法藏館書店ベスト10・
メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 5、6月の書店休業日

5月のお休み: 3日~6日・12日・19日・26日

6月のお休み: 2日・9日・16日・23日・30日

『法藏館図書目録』

2024年版ができました!

ご入用の方は
お申しつけください。

話題の本

●中外日報 (2024/4/5)

『歴史と地域のなかの神楽』

八木 透・斎藤英喜・星 優也編・A5判・280頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6278-5



●日本歴史 4月号 (2024/4/1)

『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から』

井川裕寛著・A5判・380頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-5578-7



●奈良新聞 (2024/3/24)

『古墳と壁画の考古学—キトラ・高松塚古墳』

泉 武・長谷川 透著・四六判・234頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7769-7



●佛教史学研究 (第65巻 第2号) (2024/3/15)

『近代日本の国家と浄土真宗—戦争・ナショナリズム・ジェンダー』

福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-5569-5

2刷

●中外日報 (2024/3/15)

『戒のある暮らし—仏教の自分貢献マニュアル』

齊藤隆信著・A5判・200頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-2461-5



●日本文学 3月号 (2024/3/10)

『仏法と怪異—日本霊異記の世界』

武田比呂男著・A5判・264頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6277-8



法蔵館文庫

◆日本の神社と「神道」

【日本史／宗教】

井上寛司著・文庫判・491頁・1,650円・ISBN: 978-4-8318-2664-0

神社と神社祭祀・神祇信仰の問題を「神道」との関わりに焦点を当てて、古代から現代までをトータルなかたちで再検討する画期的論考。

■目次

はしがき

序章 「神道」と神社史研究の課題

第一章 日本の「神社」と「神道」の成立

第二章 中世末・近世における「神道」概念の転換

第三章 「国家神道」論の再検討 ほか

ためし読み



◆来迎芸術

【美術史／仏教】

大串純夫著、須藤弘敏解説・文庫判・230頁・1,320円
ISBN: 978-4-8318-2665-7

阿弥陀来迎図や六道図等の美と信仰のあり方を、浄土教美術に影響を与えた『往生要集』の思想や迎講・仏名会等の宗教行事から考証。

■目次

来迎芸術一五色の糸をたぐって

来迎芸術論

十界図考

地獄絵

浄土教の思潮と絵画一恵心・法然・親鸞の芸術観 ほか

ためし読み



◆仏教文化の原郷——インドからガンダーラまで 【歴史／考古学】

西川幸治著・文庫判・352頁・1,540円・ISBN: 978-4-8318-2666-4

近代以降、埋もれた聖跡を求めて数多行われた学術探検隊による調査の歴史をたどりつつ、仏教聖地の往事の繁栄の姿をたずねる。

■目次

序 インド世界への憧れ

1 仏陀の世界を求めて

2 仏教の時代に——僧伽と仏塔と都市

3 仏像誕生

4 壮大なる都市遺跡——ヘレニズムとの出会い ほか

ためし読み



◆マンダラの新しい見方

【美術史／仏教】

森 雅秀著・A5判・262頁・3,960円・ISBN:978-4-8318-6352-2

「何がマンダラか」という視点に立ち、日本で展開した浄土教曼荼羅や参詣曼荼羅等のあり方、思想を探索しマンダラの意義を再考する。

■目次

はじめに

第一章 マンダラと灌頂儀礼

第二章 日本人はマンダラをどのように見てきたか

第三章 マンダラが媒介するもの

第四章 文字のマンダラ 種子曼荼羅

第五章 日蓮と本尊曼荼羅

第六章 浄土真宗と名号本尊 ほか

ためし読み



◆超越のささやき——「こころ」を取り戻すための宗教六講

八木誠一著・四六判・158頁・1,760円・ISBN:978-4-8318-1062-5

【宗教哲学】

超越とは何か。超越のはたらきに接するにはどうすればよいのか。言語によって束縛され、情報化された現代が見失った「こころ」を取り戻すための最新講義。

■目次

はしがき

第一講 概説

第二講 コードフリー——パウロの場合

第三講 コードフリー再考—私の場合

第四講 レーマフリー

第五講 解放がもたらすこと

第六講 メタノイアにいたる途 ほか

ためし読み



◆日本古代の国家・王権と宗教

【日本史／古代】

本郷真紹監修、山本 崇・毛利憲一編・A5判・700頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6281-5

日本古代の王権や政治社会、そして宗教にまつわる諸相について、それぞれの関心から実証的に考察した27本の学術論文を収録。

■目次

聖武天皇と八幡神

——天平勝宝六年十一月厭魅事件の意義(本郷真紹)

第1編 ヤマト国家の地方支配と祭祀・神話

第2編 奈良時代の王家と辺境・地域

第3編 平安時代の地域支配と政務

第4編 飛鳥・奈良時代の仏教

第5編 平安時代の仏教と寺院 ほか

ためし読み



◆親鸞聖人を讃えることば

【仏教／真宗】

——和讃もどきとその随縁

佐藤賢昭著・四六判・132頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8803-7

著者のご旧跡参拝など様々な思い出を織り交ぜながら、七五調で親鸞聖人を讃えることば九十篇をまとめた新しい私たちの短篇法話集。

■目次

はじめに

- 一 日野の里、出家得度、そして比叡の山
- 二 専修念仏、法然上人との出遇い
- 三 念仏停止、新たな旅路
- 四 越後、信州、常陸国 ほか

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2024年6月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・——お盆を迎える

四衢 亮著・文庫判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1171-4

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆馮道——乱世の宰相

法蔵館文庫

礪波 護著・文庫判・320頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2667-1

【中国史】

五代十国時代において、五王朝、十一人の皇帝に仕え、二十年余りも宰相をつとめた希代の政治家・馮道。乱世においてベストを尽くしたその生の軌跡を鮮やかに描きあげる。

◆忘れられた仏教天文学

——一九世紀の日本における仏教世界像

法蔵館文庫

岡田正彦著・文庫判・350頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2668-8

【近代仏教】

江戸後期から明治初、仏教僧・普門円通により体系化された仏教天文学「梵暦」。西洋天文学の手法を用いて仏教の円盤状の世界像の実在を実証しようとした思想活動に迫る。

◆増補

ゆるやかなカースト社会・中世日本

法蔵館文庫

大山喬平著・文庫判・518頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-2669-5

【日本史／中世史】

第一部は日本中世の農村が位置した歴史的位相を国内外の事例から解明。第二部は日本中世史研究の泰斗・戸田芳實、黒田俊雄、三浦圭一らの業績を論じた研究者必備の書。

◆高津正道の僧籍剝奪を問う

【真宗／近代】

高津正道の僧籍剝奪を問う会編・四六判・208頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-5585-8

治安警察法違反により本願寺派の僧籍を剝奪された高津正道。その思想と活動をたどり、高津正道の僧籍剝奪という事実が現代の本願寺教団に問いかけるものを探る。

◆新装版 親鸞のダイナミズム

大峯 顕著・四六判・232頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6701-8

【仏教／真宗】

“民族宗教”“日本教”を超えた思想家親鸞の全容を見事に解き明かし、世俗化時代の宗教再生の方途を真摯に提言した話題の書。

◆八坂神社日記 万覚日記2(安永七年～天明三年)

八坂神社文書編纂委員会編・A5判・予300頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5302-8【日本史／史料】

祇園社において神楽所座・神楽所中間を務めた狛家の日記『万覚日記』。本巻には第十冊～第十五冊(安永七年〔一七七八〕正月～天明三年〔一七八三〕十二月)の翻刻を収録。

◆都市祭礼と中世京都——表象と実像

河内将芳著・A5判・368頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-6287-7

【日本史／中世】

中世都市京都にとって祇園会などの祭礼はいかなる意味をもつのか。文献史料に記された祭礼と絵画史料に描かれた祭礼の双方を読み解き、互いの異同にも注目しつつ考察。

◆本法寺蔵法華経曼荼羅図

——法華経をめぐるイメージの世界

原口志津子著・B4判・240頁・予38,500円・ISBN:978-4-8318-6382-9

【芸術／仏教】

富山・本法寺蔵法華経曼荼羅図の全体像と拡大図をカラーで掲載。『一遍聖絵』に匹敵する豊富な画像情報を丁寧に解説した解説を含む。

法蔵館書店のおすすめ本

◆真宗聖典〔第二版〕

聖典編纂室編(東本願寺出版)

大判:A5判・1424頁・4,950円／小判:B6変判・1424頁・4,400円

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念事業として聖教編纂室にて近年の研究成果を踏まえ、『真宗聖典』(初版)の確認をしておいた『真宗聖典第二版』。

《内容》

浄土三部経・教行信証・無量寿経優婆提舍願生偈・帰三宝偈・
浄土文類聚鈔・愚禿鈔・入出二門偈頌文・浄土三経往生文類・
如来二種回向文(往還回向文類)・三帖和讃・尊号真像銘文・
一念多念文意・唯信鈔文意・親鸞聖人御消息集(広本) ほか



教行信証化身土巻講義

◆親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅳ

平野 修述「平野修師講義集」編集実行委員会編・A5判・341頁・2,530円〈真宗大谷派大阪教務所〉

大阪教区教学研修院の基調講義として8年間、全46回にわたり行われた「化身土巻講義」を全5巻にわけて収録。

「化身土巻」の内容から、仏教の歴史、そして親鸞聖人のみ教えを徹底的に俯瞰し、私たち自身に問いを投げかける平野修師の思想の集大成とも言える書。

■目次

- 第29講 真門の方便
- 第30講 果遂の誓い
- 第31講 仏が選択し勧められる念仏
- 第32講 疑心を転ずる仏言
- 第33講 就人立信 ほか



東西宗教思想家たちのシュンポシオン

◆親鸞——『歎異抄』を手がかりとして

伊藤 益著・四六判・324頁・3,960円〈春秋社〉

現代に繋がる豊かな宗教思想が育まれた東西中世。この巻では絶対他力や悪人正機といった親鸞思想の核心をアウグスティヌスやパウロとも比較して明らかにし、親鸞の生涯もたどりつつ、その思想が果たして仏教といえるのか、ブッダの思想まで遡って探究する。

■目次

- 序章 『歎異抄』の親鸞
- 第1章 仏法とは何か
- 第2章 信の構造
- 第3章 親鸞の境涯
- 第4章 悪の思想 ほか



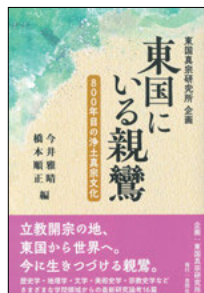
◆東国にいる親鸞——800年目の浄土真宗文化

今井雅晴・橋本順正編・四六判・384頁・3,190円〈自照社〉

常陸国稲田での立教開宗から800年。時を超え、各地に根づく浄土真宗文化とは——。歴史学・地理学・文学・美術史学・宗教史学などさまざまな学問領域からの最新研究論考16篇を収録。【東国真宗研究所 企画】

■目次

- 第1章 親鸞の伝記と思想
- 第2章 浄土真宗の展開と親鸞
- 第3章 SHINRAN 世界への展開



◆親鸞教學 119

大谷大学真宗学会編・A5判・110頁・1,100円〈文栄堂〉

真宗学の研究と公開を目的として、大谷大学真宗学会より発行されている学会誌。

講演会記録、論文、先学の講義録等を掲載する。

《内容》

他力成就の風に任す①

『具三心義』至誠心釈の「須」の読みを巡って……木越 康

緯空時代の学び

—親鸞の思想形成過程における道緯の影響①……マイケル・コンウェイ

親鸞思想における「真仏弟子」の主体について

—『教行信証』『信巻』真仏弟子釈の『安樂集』引文を中心として……藤井了興 ほか



◆浄土の歩き方

—行きたいと思ったときに来てくれるのが阿弥陀の国!

英月著・四六判・269頁・2,420円〈春秋社〉

『阿弥陀経』の説く極楽浄土の世界を、旅感覚で学べる一冊。釈迦が晩年、祇園精舎でみずから語りはじめた説法とは? 煌びやかで厳かな浄土の光景に触れ、しかしどこかに残る空しさ。極楽とはいったどこに現れるのか? 日常を照らしつづける軽妙愉快的な旅案内。

■目次

第1章 会座に集う人びと

第2章 今現在説法

第3章 阿弥陀さまの極

第4章 お釈迦さまの説法

第5章 散会 ほか



◆松下幸之助の死生観——成功の根源を探る

川上恒雄著・四六判・242頁・2,310円〈PHP研究所〉

希代の経営者を突き動かしたものととは、「素直な心」「自然の理法」「生成発展」……。松下幸之助の根底にある人間や世界に対する見方や考え方を「死生観」の視点でまとめる。

■目次

第1章 「運命」を生かす一人知を超えた「理法」の存在

第2章 「不健康またけっこう」一病と幸之助

第3章 宗教的背景を探る—「生長の家」のケースを手がかりに

第4章 死生観はどのようにして涵養されたか

第5章 「期待される人間像」議論への参画

補論 幸之助の「商道」が生み出された時代背景



◆平安時代の宗教儀礼と天皇

斎木涼子著・A5判・354頁・12,100円〈塙書房〉

主に10～12世紀の朝廷における神祇祭祀や仏事、また天皇や院に関わる宗教儀礼の成立と政治動向・政治構造との関係を検討し、古代から中世への転換期の天皇を考察する。

■目次

- 序章 古代から中世における天皇像の変化 ―儀礼研究と本書の視点
- 第一章 後七日御修法と「玉体安穩」 ―十一・十二世紀における展開
- 第二章 護国法会の変遷
- 第三章 太元帥法の伝授 ―十一・十二世紀の転換
- 第四章 仁寿殿観音供と二間御本尊 ―天皇の私的仏事の変貌 ほか



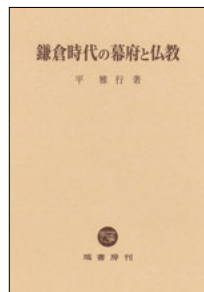
◆鎌倉時代の幕府と仏教

平 雅行 著・A5判・539頁・13,200円〈塙書房〉

幕府僧個々の事績の解明を積み重ねて鎌倉仏教界の歴史の実態を究明し、鎌倉幕府の宗教政策とその歴史の変遷を解明して、鎌倉仏教の展開史を全体的視角から捉えなおす。

■目次

- 序章 鎌倉仏教研究の課題と総括的検討
- 第一章 幕府勤仕僧と鎌倉幕府
- 第二章 鎌倉時代の国家構造について
- 第三章 北条氏の仏教界進出
- 第四章 鎌倉における顕密仏教の展開と鎌倉幕府 ほか



新・興福寺仏教文化講座10

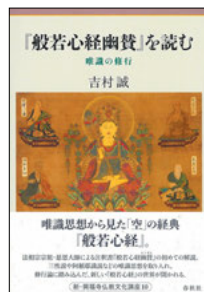
◆『般若心経幽賛』を読む——唯識の修行

吉村 誠著・四六判・334頁・2,970円〈春秋社〉

空思想を代表する『般若心経』を唯識思想の立場から慈恩大師が註釈した奇跡のコラボ。瑜伽行派の非有非空中道の立場から、修行の重要性を強調する、法相宗の立場が鮮明に現れた書を解説。

■目次

- I 『般若心経』と『般若心経幽賛』
- II 『般若心経』を読む
- III 『般若心経幽賛』を読む
- 序章 般若とは何か
- 第一章 唯識の行
- 第二章 唯識の空 ほか



◆せんせいあのね ①ひみつやで

——1年1組かしま教室

鹿島和夫著、むかいさとこ監修・新書判・229頁・1,210円〈西日本出版社〉

書き出しは「せんせい、あのね」。子どもたちが話したいこと、疑問に思ったこと、日々のことを先生に伝えた学習ノート「あのね帳」から189作品を抜粋し、新書サイズにまとめました。80年代から90年代に神戸市の小学校教諭・鹿島和夫先生が実践し、当時発行された『1年1組せんせいあのね』（理論社刊）で全国にひろまった「あのね教育」。1年生の子どもたちが、毎朝「せんせいあのね」と書いた帳面を鹿島先生に手渡すと、先生は夕方までに全員に返事を書いて返すのです。交換日記のようなやりとりを日々続けるうちに「ものを見る目」が変わり、自然とやさしい気持ちが育まれます。1年の終わりには10,000を超える作品が仕上がり、その中から2,000余りを選んで冊子を制作し、子どもたちに配ります。



■目次

- ・書き続けることで、ものの見方が変わる
- ・はやしみかこちゃんの詩
- ・いのちって
- ・ばばくんへの詩
- ・みんなの心に生き続ける、かしま先生 むかいさとこ

◆一年一組せんせいあのね

——こどものつぶやきセレクション

絵：ヨシタケシンスケ、選：鹿島和夫・B5変判・111頁・1,650円〈理論社〉

鹿島和夫と担任した小学校一年生たちとの、いわば交換日記であった「あのね帳」からセレクト。くすっと笑えるもの、じーんと胸をうつもの……生のことばは、実にふくよかでみずみずしく、熱をもって迫ってきます。

ヨシタケシンスケの絵とタグを組み、新たに心をゆさぶる。



◆しめっばい話ですが

小田 扉著・B6判・176頁・715円〈小学館〉

町の小さな葬儀社のバチ当たりコメディ!

葬儀社は人の「死」という非日常の世界を日常的に執り行う仕事。そこにはもちろん人の数だけドラマがある。『団地ともお』の小田扉が描くクスッと笑えてちょっぴり涙ぐむ葬儀社コメディ決定版!!



◆仏教学者、キリスト教徒の問いに答える

——日本の自然と宗教

立川武蔵著・四六判・199頁・1,870円〈西日本出版社〉

仏教学者・立川武蔵が、長年の盟友で日本文学研究者であり、キリスト教徒のキャサリン・スパーリングを聞き手として、仏教や宗教、日本文化とは何かを、やさしく、そして深く、時には脱線しながら、往復書簡のように綴りました。

■目次

- 第一の問い 自然とは何ですか？
- 第二の問い 仏教はいかに広がったのですか？
- 第三の問い 密教とは何ですか？
- 第四の問い 日本人にとってキリスト教とはどのような存在なのでしょう？
- 第五の問い 神道と仏教の関係とは何ですか？ ほか



◆石は叫ぶ——靖国反対から始まった平和運動50年

キリスト者遺族の会編・A5判・261頁・2,750円〈刀水書房〉

1969年、靖国神社国家護持法案を国会に上呈しようとする動きが強まる中、キリスト者遺族の会が発足した。平和を守る運動を展開してきたその歴史を概観するとともに、機関紙と遺族文集から抜粋した声明や論考を収める。

■目次

- まえがき 木村庸五
- 第1部 戦争体験を継承し、非戦を望む
ヤスクニ反対五〇年を顧みて 吉馴明子
- キリスト者遺族の会とともに五十年 木村庸五
- 第2部 遺族の会50年の記録 ほか



◆人生の意味の哲学入門

森岡正博・蔵田伸雄編・四六判・303頁・2,420円〈春秋社〉

「生きることに意味はあるのか？」繰り返し問われてきたこの問いに、分析哲学から厳密にアプローチする21世紀英語圏の新たな哲学的ムーブメントはほとんど知られていない。本書はその入門書であり、かつ、それを踏まえた日本の人生の意味哲学の最前線だ！

■目次

- 第一章 人生の意味はどう問えばよいのか
—人生の意味を考えることについて考える 村山達也
- 第二章 人生の意味の哲学はどのような議論をしているのか 森岡正博
- 第三章 広大な宇宙のなかでちっぽけな人生に何の意味があるのか 鈴木生郎
- 第四章 「人生の意味」についての客観説と主観説 蔵田伸雄 ほか



◆教義と歴史から理解する 入門・世界の宗教

角田佑一 著・A5判・400頁・2,970円〈ミネルヴァ書房〉

世界の主要な宗教の教義が歴史的にいかに発展してきたのか、その結果、どのように宗派や教派が派生したのかを解説する。各宗教の概要がわかる一覧表、かかわり・影響が見渡せる変遷図つき。

■目次

- 第Ⅰ部 一神教——「啓示」に生きる
- 第Ⅱ部 インド発祥の宗教——「ダルマ」に生きる
- 第Ⅲ部 中国と日本発祥の宗教——「道」に生きる



◆求道の越境者・河口慧海 ——チベット潜入ルートを探る三十年の旅

根深 誠著・四六判・461頁・3,300円〈中央公論新社〉

鎖国時代のチベットに日本人として初めて潜入した僧・河口慧海。謎に満ちたその経路をついに解明する。30年以上にわたり現地を旅し、土地の人々交流し、調査を重ねてきた第一人者が、その集大成として書き下ろしたノンフィクション。

■目次

- 第Ⅰ部 チベット・パヤン地方
- 第Ⅱ部 ネパール・トルボ地方
- 第Ⅲ部 そして国境付近の峠へ



◆次世代継承のためのケーススタディ 宗教法人の法務・財務・税務

徳田貴仁著、玄武法律事務所編・A5判・681頁・6,380円〈第一法規〉

宗教法人の法務・財務・税務について、制度ごとに詳しく解説のうえ、裁判例・裁決例等の事例を多数掲載。ケーススタディでは、不動産の寄附受贈や借地運用等のテーマごとに、法務・財務・税務上の留意点を解説。さらに、次世代継承のチェックポイントを掲載。

■目次

- 第1編 宗教法人の法務
 - 第1章 宗教法人制度の沿革
 - 第2章 宗教法人の種類
 - 第3章 宗教法人の設立と監督
 - 第4章 宗教法人の組織 ほか



◆名宝で迎える 法然と浄土思想のすべて

——人々を救済へと導く仏の慈悲と祈り

岩田文昭監修・A4判・111頁・1,540円〈宝島社〉

法然の生涯から、浄土思想の歴史を貴重な名宝を用いてビジュアル満載で紹介する一冊です。法然ゆかりの寺から名言も徹底解説。

また本誌では2024年4月16日(火)から東京国立博物館・平成館ほかで開催される特別展「法然と極楽浄土」を徹底解説! 特別展がより楽しくなる内容です。

本誌特別付録として修復後の「阿弥陀二十五菩薩来迎図(早来迎)」のポスター付きです!



◆そのとき門はひらかれた——法然上人ものがたり

法然上人ものがたり絵本作画委員会監修・解説

絵:中川 学、構成・文:かんちくたかこ

19×27cm・42頁・2,200円〈アリス館〉

2024年は浄土宗が開かれて850年。「すべての人を救いたい!」と考え、その教えを探した法然上人の半生を描きます。「なやみ、苦しむ月日も人生にとって意味のあること」と説き、今を生きる人の心にも訴えます。解説つき。



minerva21世紀ライブラリー

◆道元の哲学——『正法眼蔵』を読み解く

小坂国継著・四六判・268頁・3,850円〈ミネルヴァ書房〉

道元の『正法眼蔵』で取り上げられるテーマは、真理・実在・心・自然・時間・生死・因果・修行・証悟など多領域にわたっているが、結局のところ、「自己とは何か」すなわち「父母未生以前の本来の面目は何か」という問題に集約される。

■目次

- 序 章 道元の哲学と『正法眼蔵』
- 第一章 真理論——「現成公案」を読み解く
- 第二章 実在論——悉有は仏性なり
- 第三章 時間論——有時の而今
- 第四章 自然観
- 第五章 生死観
- 終 章 道元と西田幾多郎、あるいは日本の哲学



◆墓じまいラプソディ

垣谷美雨著・四六判・301頁・1,760円〈朝日新聞出版〉

「夫の墓には死んでも入りたくない」義母の遺言から始まった墓問題。それは親類や子供たちを巻き込み、墓の必要性などを考えるきっかけになっていく。「遺骨は燃えるゴミで」と言いたくなるほど面倒な、明日は我が身の墓騒動小説。



◆2023年度版 全国のあいつぐ差別事件

部落解放・人権研究所編・A5判・174頁・2,200円〈解放出版社〉

被差別部落に関わる差別事件を集約している本書最新版。部落差別事件を「全国部落調査」復刻版出版事件、戸籍等不正取得事件、差別投書・落書き・電話、インターネットによる差別事件等項目毎に紹介。

■目次

2022年度に発覚した部落差別事件の概要と分析
インターネット上の部落差別—2022年度の現状と課題
資料

「全国部落調査」復刻版出版事件
「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ
戸籍謄本等不正取得事件
土地差別調査事件
差別投書・落書き・電話
インターネット上の部落差別 ほか



◆ルポ 宗教と子ども——見過ごされてきた児童虐待

毎日新聞取材班編・四六判・213頁・2,200円〈明石書店〉

安倍元首相銃撃事件を機に社会で注目されるようになった「宗教二世」問題。家族と宗教という二重のブラックボックスの中で「見えない存在」にされてきた一人一人の苦難を丁寧に聞き取ると同時に、国や自治体、医療機関が過去にどう対応してきたかを検証する満身のルポ。

■目次

はじめに
序章 二発の銃声から
第一章 深く残る傷痕
第二章 教義と虐待
第三章 誰が輸血を拒むのか
第四章 オウムの教訓はどこへ



◆一宮巡拝

文・写真：中野晴生・A5判・275頁・7,700円〈富山房インターナショナル〉

『出雲大社』『伊勢神宮』を刊行している写真家中野晴生氏による最新の写真集。

全国101の「一宮」神社をモチーフに、その時、その場所ですっきり感じ得ないはずの神事の空気を撮影しています。



◆図説 ここが知りたかった! 神道

武光 誠著・四六判・234頁・1,980円〈青春出版社〉

初詣では何を願うのか? どうすれば厄除けできる? 神棚の正しい祀り方は? ご利益は神社ごとに違う? ……。神様に思いを届ける祈りの作法とは! 暮らしに息づく「神道」の知られざる起源と、その教えのすべてがわかる一冊。「図説ここが知りたかった!」シリーズの一冊として判型も大きくなり、より見やすく、わかりやすくなりました。

■目次

- 一章 厄落とし・厄払い入門
- 二章 開運の知恵袋
- 三章 神詣でと神棚の祭り
- 四章 神々の系譜と神道の歴史



◆京都あやしタウン

——まちを歩けば妖怪にあたる

堤 邦彦監修・四六判・125頁・1,760円〈淡交社〉

妖怪が現代の京都で暮らす「もしも」の世界。京都の大学生考案の擬人化パロディと、怪談研究者による京都ゆかりの妖怪解説を収録。日常に妖怪が紛れ込む気配を、この本で疑似体験してみては。

■目次

- 1章 卯の刻～午の刻 (橋姫; 鬼火; 以津真天; 朧車; 衣蛸; 河童)
 - 2章 未の刻～酉の刻 (ぬらりひょん; 酒吞童子; 茨木童子; お歯黒婆; 大入道; ろくろ首; 付喪神)
 - 3章 戌の刻～寅の刻
(そろばん坊主; 甘酒婆; 土蜘蛛; 鞍馬天狗; 輪入道; 片輪車; 大蛇; 羅城門の鬼; 鶴)
- 堤邦彦×陸月ムンク 対談 妖怪というキャラクター
論考 江戸の妖怪話にはじまるもの



◆初期仏典における涅槃について

——『スッタニパータ』を基本資料として

富田真理子著・A4判・318頁・3,850円〈山喜房〉

《内容》

Abbreviation 略号

凡例

はじめに

序論

本研究の方法論

本研究の対象範囲

主要経典とその成立・時代層の問題

問題の所在

本研究の概要問題

本論

1.涅槃の語彙の語源と 原意に関する分析

2.初期仏典中の涅槃の語彙の分析 ほか



◆真実への悟入と教説

——『プラサンナパダー』第18章「我の考察」の研究

新作慶明著・A4判・243頁・5,500円〈山喜房〉

《内容》

はじめに

略号

第Ⅰ部『プラサンナパダー』第18章について

第1章『プラサンナパダー』の研究動向

第2章『プラサンナパダー』第18章の構造

第Ⅱ部『プラサンナパダー』第18章校訂テキスト・註釈

第1章 サンスクリット校訂テキスト

第2章 チベット語訳校訂テキスト

第3章 訳注 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 5月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 伊澤彩織さん(俳優、スタントパフォーマンス)

自分が誇りをもてる作品なら、命を削ってもかまわない。

◎特集 声—響きのなかで出会う

連載

・書いて学ぶ 親鸞のことば 歎異抄……鶴見 晃

・仏教ゆかりの生きもの図鑑……

文:福田 琢 画:大島加奈子 ほか

◆大乘 5月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました

「頭痛持ち」……前田純代

・なるほど仏教ライフ 「悲しみの意味」……西原祐治

・御文章をいただく……満井秀城

・お坊さん み跡をめぐる Part2 「黒谷 青龍寺」 ほか

特集1

「舞楽と雅楽」

伝統の和楽器その歴史と文化の真相に迫る。

★天王寺舞楽

新刊

小野真龍著・四六判・288頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6286-0

大阪が千年にわたって伝承してきた「もう一つの、ほんとうの雅楽」。古代の伎楽や散楽にはじまり、平安時代から近代の雅楽まで、聖徳太子の願いのこもった、民衆とともにある唯一無二の菩薩道の舞楽の歴史と文化をひもとく。〈法蔵館〉

ためし読み





聖徳太子千四百年御聖忌記念出版

◆聖徳太子と四天王寺

和宗総本山 四天王寺編、石川知彦監修・B5変判・304頁・3,080円
ISBN:978-4-8318-6070-5

千四百年もの長きにわたり日本仏教界にとって重要な寺院である四天王寺の発掘、歴史、美術等の最新成果を第一線の研究者が考察。〈法蔵館〉

◆四天王寺聖霊会の舞楽 増補版

南谷美保著・B5判・150頁・3,300円

聖徳太子の御霊に捧げられる極楽浄土の舞……四天王寺聖霊会の詳細を、綿密な考証と150余点のカラー写真で平易に解説。その歴史、法要の意味や装束・楽器まで、舞楽・雅楽鑑賞のまたとない手引き。〈東方出版〉



◆仏教と雅楽

小野功龍著・A5判・374頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5693-7

舞楽の歴史的変遷、神事と舞楽、雅楽の音楽的考察、舞の特徴、地方舞楽への伝播等々。天王寺舞楽を中心とする舞楽研究の集大成。〈法蔵館〉

◆雅楽のコスモロジー

——日本宗教式楽の精神史

小野真龍著・四六判・256頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-6256-3

1400年、王権を支える儀礼式楽として続いてきた日本の雅楽。天王寺舞楽の伝承者である著者が、日本宗教のコスモロジーを探る。
〈法藏館〉



◆古代日本の儀礼と音楽・芸能

——場の論理から奏楽の脈絡を読む

平間充子著・A5判・304頁・11,000円

7～10世紀の日本における音楽・芸能は、誰がいつどこでどのように行い、観て聴いたのか。

人間の営みとしての音楽・芸能について、演奏と視聴という行為が繰り広げられた時間と空間＝「場」が、どのような論理のもとで機能していたのかを検証。
〈勉誠出版〉



◆雅楽のひみつ

——見かた・楽しみかたがわかる本 伝統の和楽器超入門

日本雅楽会監修・A5判・128頁・2,530円

楽器の音色がQRコードで簡単に視聴でき、演奏がイメージできます。

悠久の歴史を紡いできた独自の音楽と舞。古典芸能の世界に触れ、魅力を知り、見識を深めることができます。〈メイツ出版〉



◆【CD】雅楽——法要・結婚式用・葬祭用

押田良久監修・CD判・3,300円

平安朝の昔から、日本で大切に演奏されてきた伝統音楽 雅楽。お寺さまで法要、結婚式、葬儀などに最適。ご寺院、神社などの法要、結婚式や葬祭だけでなく、聴いても味わい深い。

〈市原栄光堂〉



特集2

五月病なんて 吹き飛ばそう!

なんだか気分がすぐれない…? それ、五月病かもしれませんよ! 真面目で完璧主義、きっちりやらないと気がすまない性格の人に多いようです。 ある程度のことは「まっ、いいか」とやり過ごせる心の余裕を持つ事も大切。上手く乗り切りましょう。



◆うつにならないための法話

和田真雄著・四六判・94頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8737-5

うつになりやすい個性と、うつに縁のない個性。あなたはどっち? カウンセラーで僧侶という人生のプロの著者が、自分の個性をいかして充実した人生を開いていく方法を伝える。〈法蔵館〉

◆ZEN呼吸——「健康」は白隠さんから

椎名由紀・横田南嶺著・A5判・186頁・1,760円

がんばりすぎ、考えすぎの現代人のために250年の時を越えて「夜船閑話」が教える究極の健康法。あらゆる不調を卒業しましょう。〈春秋社〉



◆ヴィパッサナー瞑想 図解実践 ——自分を変える気づきの瞑想法【決定版】

アルボムッレ・スマナサーラ著・四六変判・293頁・1,760円

お釈迦様の瞑想である「ヴィパッサナー瞑想」は、身体をトレーニングして病気に負けない体力をつけるように、心をトレーニングして、ストレスやトラブルに負けない「心の力」を育てる方法です。仏教の知識は必要ありません。試してみれば、ほんの何日かで、幸せを発見できるかも。〈サンガ新社〉

◆メメンとモリ

ヨシタケシンスケ著・A5判・136頁・1,760円

身もふたもない言葉の中にだけ、希望を見出せるときもある。「人は何のために生きてるの?」の3つのお話。〈KADOKAWA〉



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第2回 5月17日(金)「祇園祭と盆行事—風流文化を軸に両者の共通性を考える」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口の階上に直通エレベーター)〉

佛教学大学教授 八木 透氏

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

●受講料は1講座1,000円(税込)

招待券プレゼント! 中外日報宗教文化講座へ5名様ご招待

- 応募条件 法蔵館書店へ招待券を取りに来られる方。
■応募方法 メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記しご応募ください。
■締 切 5月7日23時59分到着分まで。 ※招待券1枚につき全4回ご参加いただけます。
※抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

荷送料変更のお知らせ

(2024年4月1日発送分より荷送料規定を改定させていただきます。)

●荷送料規定 (2024年3月29日発送分まで)

合計価格(税込)	荷送料(税込)
16,500円未満	450円
16,500円以上	無料

●代引規定

手数料(税込)
330円
無料



●荷送料規定 (2024年4月1日発送分より)

合計価格(税込)	荷送料(税込)
16,500円未満	550円
16,500円以上	無料

●代引規定

手数料(税込)
330円
無料

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(4月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
2	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
3	浄土の歩き方—行きたいと思ったときに来てくれるのが 阿弥陀の国!	英月	春秋社	2,420円
4	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
5	真宗聖典〔第二版〕〈小判〉	聖典編集部編	東本願寺出版	4,400円
6	真宗聖典〔第二版〕〈大判〉	聖典編集部編	東本願寺出版	4,950円
7	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
8	曇鸞『浄土論註』の新研究—真宗理解の再構築のために	市野智行編	法藏館	3,300円
9	【帰京後の親鸞 —明日にともしびを9】八十二歳の親鸞—善鸞異義事件	今井雅晴	自照社	1,100円
10	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗IV	平野修述「平野修師講義集」 編集実行委員会 編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会
検索




法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!